



「満州国の鉄道路線図(1945年)」参照

※ 1946年5月から48年までの3年間に105万の引揚者を送り出したことが、中国語と日本語で刻まれている。

ここに男女10人くらいのグループがいた。和服の女性がいたので日本人だとわかった。今回の旅で、初めて会う日本人。声をかけたら長野から来られたとのことだった。「亡くなった兄が」「両親が」ここから引き揚げたと聞いていたので来られたそう。私が4歳の時に引き揚げたという、もう直接話を聞ける引揚者本人もいなくなったといわれ、しばらく私の体験を聞かれた。生き証人の役割を感じた一瞬。

船に乗るため、ベソをかきながら歩いた海岸線を歩きたかったが国際湊に造成工事中ということで、港に降りることはできなかった。少し残念な思いで、念願の葫蘆島の旅を終えた。(続き次号で完結)

市民シンクタンクひと・まち社 第17回総会のお知らせ

ひと・まち社は2016年に認定NPOを取得(2021年10月20日まで有効期間)し、1年が経過しました。2017年度はひと・まち社への寄付が税額控除の対象となることやひとまち社の活動をホームページや機関紙発行などによりPRしてきました。おかげさまで今年度の寄付者は111人となり、認定NPOとしての基準「3000円以上の寄付者100人以上」をクリアすることができました。これもひとえにみなさまのご支援のたまものと感謝申し上げます。

調査活動は、介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)に関する3年間の継続調査を実施中で、第2回調査となる2017年度は、都内23区26市の自治体・社会福祉協議会、シルバー人材センターなどを対象としたアンケート調査を行いました。日本郵便年賀寄附金配分助成を受け、9月に第2回調査報告会を開催し、2018年1月より実施する第3回調査につなげました。

第三者評価については登録評価者27名、受託目標30件スタートし、12月末までにグループホームや特別養護老人ホーム、保育所など合計28件の評価を実施し、4件の利用者調査を行いました。社会的養護関係施設の評価は、東京都社会福祉協議会が運営する事業所受託に向けてプロポーザルに力を注ぎましたが、残念ながら受注には至らず、児童養護施設1件の受託にとどまりました。

懸案となっていた事務所の転居については、同居するNPO法人VIVID(高次脳機能障害者を対象としたミニデイや相談事業を実施)が就労継続支援B型を含んだ新規事業を実施することが決定したため、ひと・まち社は12月末に同じASKビルの5階に転居し、2018年1月からは、新事務所で業務を実施しています。

総会では1年を振り返り、新年度に向けて認定NPOになったことで広く寄付が募れるよう情報発信を充実させることと社会貢献ができるよう新しい事業の可能性について、皆様から広くご意見をいただきたいと思っております。第17回総会を下記日程で開催します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

認定特定非営利活動法人 市民シンクタンクひと・まち社 第17回総会

日時：3月23日(金) 14時～16時

場所：ASKビル4階会議室

ひと・まち社への寄付をお待ちしております
NPO法人市民シンクタンクひとまち社
・三菱東京UFJ銀行 新宿中央支店 普通 5298170
特定非営利活動法人市民シンクタンクひとまち社

編集後記：四年ぶりの大雪で、都内の交通は乱れ、駅のホームには人があふれて、混雑した電車からやっとの思いで降りることができました。何日も道路の雪は残る中、デイサービスの車は、タイヤにチェーンをつけて、いつもと変わらぬ笑顔で高齢者を迎えに行きます。介護保険の見直しが度重なる中、土日もお正月休みもないデイサービスのスタッフに感謝しつつ、サービスが切り落とされないことを願うばかりです。(K)